

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

寸法図

TM43A20

タイルの目地を合わせる場合		
タイル寸法	L	H
75×75	150	60±10
100×100	200	80±10
222×111	222	100±10

※L寸法は120～225まで可能ですが、上表以外のL寸法になった場合は、製品を仮固定して連絡管をいっばいに差込みH寸法を決めてください。

下準備

A. TB43A20の場合

5. 埋戻し

中にはモルタルが入らないよう注意すること

モルタルで埋戻します。モルタルによる埋戻しをしない場合は、給水・給湯配管及びシャワー側への配管は、それぞれホルダーを用いて十分に固定し器具が動かないようにしてください。

6. 壁仕上げ

壁仕上げは、養生ボックスに記入してある仕上げ表示線の範囲に仕上げてください。この範囲をはずれるとカバーなどの正常な取付けができません。

完成図

A. TB43A20の場合 B. TM43A20の場合

器具の取付け

- A. TB43A20の場合
- 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
 - シャワー側の接続

7. 養生ボックスの取外し

小ねじをはずし、養生ボックスを左右へゆすりながら引きぬいてください。
※モルタルが半乾きのときに、小ねじをゆるめ養生ボックスを少しゆすっておくと引きぬきやすくなります。

8. カバーの取付け

カバーをはめてカバー押えを締付けます。
※タイル目地のくぼみから水が入り込まないように、目地のくぼみを埋めて、取付けてください。

使用条件

- 使用水压
 - (1)給水、給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa
最高圧力…0.6MPa
 - (2)給水、給湯圧力が0.6MPaを超える場合は減圧弁で減圧してください。
 - (3)給水、給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。
(差圧が生じる場合でも0.1MPa以内にしてください。)
 - ※瞬間湯沸器と組合わせて使用する場合は、瞬間湯沸器の大きさや水压条件などの制約がありますのでよりのTOTO事業所にご相談ください。
- 給湯温度は使用する最高温度より10℃以上高くしてください。
- 最高温度でも50℃程度しか得られないことがあります。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- 湯・水を逆配管しないでください。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

3. 本体の取付け

付属のユニオンを接続して本体を取付けます。

4. 漏水の点検

埋込配管部に通水して接続部分の漏水を点検します。このときバス側・シャワー側配管のプラグをゆるめ、エア抜きをした後、漏水の点検をしてください。

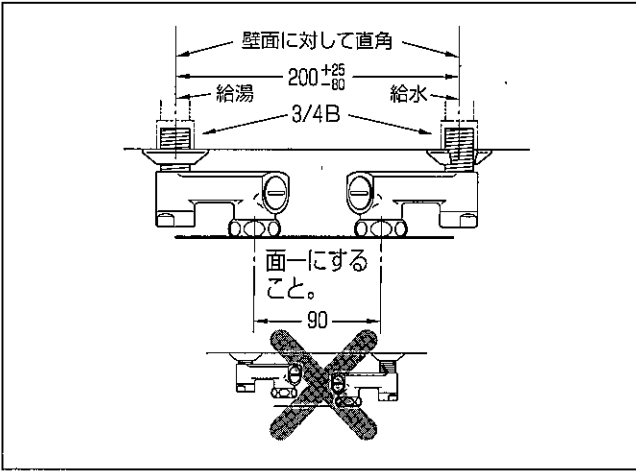
9 温度調節ハンドルの取付け

温度調節ハンドルを取付けるときは本体軸とハンドルのカット面を合わせて押し込んでください。この時温度調節ハンドルは確実に押し込んでください。

B. TM43A20の場合

- 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓の取付け



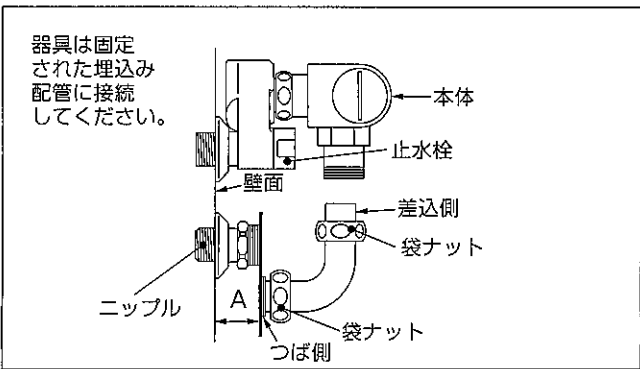
※止水栓の取付位置が本体よりも上になるとストレーナの着脱ができません。

3. 連結管の取付け

- (1)ニップルの取付けに当っては、止水栓に本体を固定し、連結管を仮付けしてA寸法を確認し取付けてください。
- (2)連結管の差込み側の長さが長いときは切断してください。

※抜け防止のため差込み代は20mm以上確保してください。

※連結管を切り落した後は、必ずカエリや切り粉を取り除いてから接続してください。



(3)袋ナット(2個)を十分に締付けてください。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しかでなくなるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようご指導願います。

お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

温度調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状態などによって、温度調節ハンドルのダイヤルどおりの吐水温度にならない場合があります。

その場合は次の要領で調節してください。

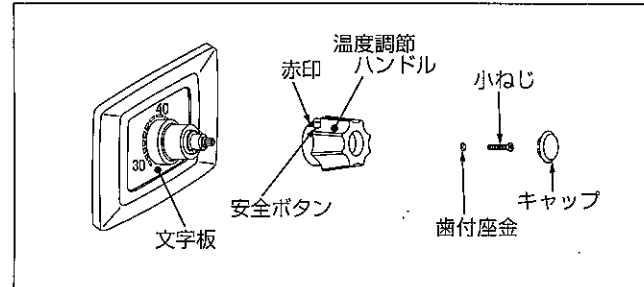
なお、調節する前に次のことを確かめてください。

1. 止水栓が全開になっていること。
2. ストレーナのごみづまりがないこと。
3. 十分な温度(使用する温度より10℃以上)のお湯がきていること。

〈調節要領〉

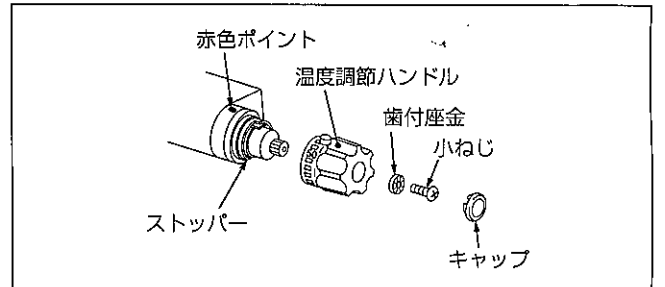
A. TB43A20の場合

1. 吐水させながら温度調節ハンドルのダイヤル目盛に関係なく40℃のお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。(高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。)
2. 温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじをはずして温度調節ハンドルを抜きとってください。
3. ハンドルの赤印を文字板の"40"に合わせてはめこみ、小ねじで固定しキャップをはめてください。



B. TM43A20の場合

- 1はTB43A20と同じ
2. 温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじをはずして温度調節ハンドルを抜きとってください。(ストッパーがはずれたら赤色ポイントに切欠きを合わせてはめてください。)
3. ダイヤル目盛の"40"の文字と赤色ポイントを合わせて温度調節ハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめてください。



分解と点検

取付後、万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

A. TB43A20の場合

2 ごみづまりはないか

1 全開されているか

5 エLEMENTのピンのおさまりはよいか

4 水側・湯側シート部に傷、ごみづまりはないか

3 温度調節はよいか

現象	点検箇所
吐水量が少ない。	1・2
高温しか出ない。	1・2・3・4・5
低温しか出ない。	1・2・3・4
ダイヤルどおりのお湯が出ない。	1・2・3・4・5

B. TM43A20の場合

2 ごみづまりはないか

5 エLEMENTのピンのおさまりはよいか

4 水側・湯側シート部に傷、ごみづまりはないか

3 温度調節はよいか

現象	点検箇所
吐水量が少ない。	1・2
高温しか出ない。	1・2・3・4・5
低温しか出ない。	1・2・3・4
ダイヤルどおりのお湯が出ない。	1・2・3・4・5